

交通アクセス



飛行機を利用	羽田空港	飛行機	米子空港	バス	七 瀬 港	船	菱 浦 (海士町)
	伊丹空港	飛行機	隠岐空港	バス	西 郷 港	船	菱 浦 (海士町)
JRを利用	東 京 大 博 多	JR	JR松江駅 JR米子駅	バス	七 瀬 港	船	菱 浦 (海士町)
バスを利用	東 京 大 博 多 大 岡 山 福 岡	バス	JR松江駅 JR米子駅	バス	七 瀬 港	船	菱 浦 (海士町)



島根県立隠岐島前高等学校 (全日制普通科)

〒684-0404 島根県隠岐郡海士町福井1403

tel 08514-2-0731 fax 08514-2-0035 [入試専用ダイヤル] 080-2946-3999

ホームページに最新情報を掲載しています。

※お問い合わせは、ホームページのフォームをご活用ください。 ※この学校案内は令和4年4月の状況をもとに作成しています。

<https://www.dozen.ed.jp>



真理に根ざし理想を掲げ、  
新しいことに自ら進んで挑戦する。

隠岐島前高校  
OKI-DOZEN HIGH SCHOOL



島根県立  
隠岐島前高等学校  
学校案内 2022

地域 × 世界

やりたい × できる

仲間と、先生と、地域の人と  
 たくさんの夢の種を集めよう。  
 本気になるから変えられる。  
 自分の、島の、世界の未来。



校長挨拶



校長 野津 孝明

激しく変動する社会は、その未来の予測を許しません。「既定の知識や技能だけでは、これから先の社会には対応困難」という考え方が一層強くなっています。そんな時代の中で本校は「失敗を共に称え合う学校」をスローガンに掲げます。これまで様々なことに挑戦し、豊かな自然と人情溢れる島前地域での交流と協働学習、地域から世界まで幅広い舞台での体感的な学習や研修、全国でも稀な公立塾と学校との連携・協働教育、先進的なICT環境など、前進・進化しようとする人を支援する体制を整えてきました。挑戦があれば必ず失敗があります。その失敗をしっかりと振り返り、より一段高い挑戦を促す環境を整えていきます。多数の挑戦や経験を通しての気づきを大切に「主体的・対話的で深い学び」につなげていきます。「(グローバル×ローカル=) グローカル人材」の育成をめざす本校で、同じ志を持つ仲間とともに、真理を追究し大いなる理想を掲げながら、想像を超える未来を創り出していきましょう。



生徒の多様性を活かした地域課題探究

本校には島前3町村に加えて日本全国・海外から生徒が集まっています。生徒は様々な活動を通して新たな価値観に触れ、多文化の中で協働することの大切さを学びます。また、地域に実在する課題にチームで取り組むことで、地域に対する愛着を持つだけでなく、地域の一員として何が出来るかを考え、他者とつながりながら物事を解決することを体感的に学びます。学びの場は授業だけではなく、地域の祭りや清掃活動、保育園や福祉施設でのボランティア、あなたの行動範囲の全てが学びの場になります。

「グローバル」に挑戦ができる学校

地域から世界まで、幅広い舞台で挑戦できるのが本校の強みです。平成27年度に離島では初めて文部科学省のスーパーグローバルハイスクールに指定されました。現在でも、ブータンやロシアをはじめとする世界の国々と交流しています。地域に飛び出す機会はもちろんのこと、地域から飛び出す機会も数多くあります。2年次には海外研修としてシンガポールに行き、地域課題について現地の大学生にプレゼンテーションする機会があります。地域からの視点だけでなく、世界的な視点で物事を捉えることの面白さを学びます。地域でも世界でも、機会を活かすかどうかはあなた次第です。



「やり方」を描くキャリア教育

一人ひとりの思い描く未来を実現するために、1年次から充実したキャリア教育を行います。地域の仕事人や起業家に加え、世界中の様々な分野で活躍する講師を迎えての特別授業や、体感型ワークショップなどを通して多様な生き方、働き方、価値観に出会い、視野を広げます。また、様々なチーム活動を通して自分の強みや得意分野、自らの興味関心や未来への志を明確にし、将来の方向性を見定めていきます。隠岐国学習センターの「夢ゼミ」とも連携したキャリア教育で、あなたの「やりたい」を応援します。

「できる」を引き出す学習環境

自ら問い続け、考え抜く力を育成するため、生徒の主体性を引き出す対話的な授業を積極的に導入しています。一方的に先生に教えてもらうのではなく、生徒同士が学び合ったり、地域や世界を学びの場にしたりして当事者意識を持って学ぶ環境が多くあります。隠岐国学習センターと学校が連携し、それぞれの進度に対応した教科学習ができるのも魅力です。また、学ぶためのICT環境も整備されています。先生と生徒の距離も近く、あなたの「できる」を引き出す学習環境があります。



校 訓

真理 理想 進取

真理に根ざし理想を掲げ、  
 新しいことに自ら進んで挑戦する。



# 地域とともにある

## 多彩な学校行事

学校の中だけでなく、島の中、島の外、あらゆるところを巡り、経験することは高校生活1番の宝物になるでしょう。



Memories



**歩こう会**  
自分の足で島を巡り、地域の宝を見つける春の校外学習。チームで協力し合い、絆が深まります。



**文化祭**  
心を一にする合唱、個性で観客を魅了するパフォーマンス、協力して作り上げるクラスブース。お互いの力を持ち寄って活かし合う、碧燦祭の始まりです！



**地域共創実践活動**  
隠岐島前地域の様々な事業者のもとで活動します。地域の方々の温かさに支えられながら、自分の持ち味を活かして頑張ります。たくさんの発見があり、リアルな現場で実践的・探究的に学びを深めます。



**2年生海外研修旅行**  
約1年間にわたる夢探究活動の英語によるプレゼンや、現地の方々との文化交流を通じて、国際意識が高まります。ホームステイ先のお母さんが言ってくださった「国が違ってあなた達は私の娘よ。」という言葉が、忘れられません。



**予餞会**  
卒業生への感謝の気持ちを込めて作り上げる予餞会は、少しさみしいけれど、高校最後の楽しい思い出にしてもらうため、後輩が一生懸命準備をします。笑いあり、涙ありの素敵な時間です。



**見送り**  
この島だからこそできるフェリーに向かってのお見送りは、青い空に色とりどりのテープが舞って、お別れだけども綺麗です。私達は「さよなら」は言いません。この島が卒業してからも、いつまでも居場所であることを願い、こう言います。「いってらっしゃい」。

11月は、1年生大学・企業見学、2年生研修旅行、1年生地域競争実践活動の順

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月										
始業式 入学式	新入生オリエンテーション	歩こう会	生徒総会 中間試験 PTA総会	前期県総体	後期県総体	期末試験	球技大会	終業式 オープンスクール	始業式 キンニャモニャ祭り	碧燦祭(文化祭・体育祭)	中間試験 球技大会 生徒総会	1年生大学・企業見学 2年生研修旅行 1年生地域共創実践活動	期末試験	終業式	始業式	学年末試験	予餞会	卒業生見送り	卒業生見送り	終業式 探究学習成果発表会	離任式

OKI-DONZEN HIGHSCHOOL



**キンニャモニャ祭り**  
海士町1番の祭り!しゃもじを持って皆で踊った後は、花火を見て夏の余韻に浸ります。



**体育祭**  
1年で最も島前高が熱くなる日。仲間のために走って、仲間のために叫んで、一生忘れられない思い出になります。



**火の集い**  
2日間にわたる碧燦祭(文化祭・体育祭)は、校庭の真ん中に立ち上る大きな火を、皆で囲んで終わります。青春を心に焼き付ける、島前高ならではの素晴らしい文化です。

### 特色ある島前高校の授業



#### 夢探究 I

グローバルな視野で考えながら、地域(ローカル)で足元から実践していくことができる「グローバル人材」を目指し、1年次の夢探究Iでは「自分の価値観を知る」「チームで協働する」「問いを立てる」など探究の基礎を身につけていきます。2学期には、1学期に学んだことを生かしなが、役場の方や漁師さんなど、多様なゲストとの対話から隠岐島前地域の魅力と課題について理解を深め、3学期からスタートするチームでのプロジェクト活動につなげます。



#### 夢探究 II

2年次の夢探究IIでは1年次の3学期にチームで設定した地域課題の解決や、価値創造に向けた具体的な実践に取り組みます。2学期の最後にはその活動の成果をシンガポールなど海外の大学生に向けて英語で発表し、対話を通じて学びを深めていきます。そして3学期にはこれまでのチームでの探究学習で得た学びを振り返り、これからの自分の生き方、働き方を描くための問いを各自が立て、それぞれのキャリアの探究につなげていきます。

# 地域に根ざした

## 部活動

運動部・文化部ともに精熟を持って取り組んでいます。地域に見守られながら、離島ならではの強みを活かして、日夜努力に励みます。

レスリング部

ヒトツナギ部

男子ソフトテニス部

女子ソフトテニス部

男子バレーボール部

女子バレーボール部

女子バスケットボール部

男子バスケットボール同好会

軟式野球同好会

地域国際交流部

OKI-DONZEN HIGH SCHOOL



レスリング部

島前高校レスリング部は、経験者、初心者、島内生から島外生と多様な人たちが集まっています。全国大会にも毎年出場しており日々全力で練習に励んでいます。トレーニングや練習は辛いことが多いですが、自分達を鼓舞しメリハリを持った練習をしています。レスリングは体力面だけではなく、礼儀や人に対する感謝の気持ちなど精神面も鍛えることができます。ぜひ私たちと一緒に心・技・体を磨いていきましょう。



男子ソフトテニス部



男子バレーボール部



女子バスケットボール部



軟式野球同好会



地域国際交流部



ヒトツナギ部

私たちの主な活動は「ヒトツナギの旅」です。この旅では、島前の「人」の魅力を全国の中高生に伝えることを目的に、ホームステイなどの企画を行っています。ほかにも、地域のお手伝いや他校との交流、各種イベント企画、観光庁長官などの外部視察の方へのプレゼンなど、様々な活動を行っています。これらを通して、コミュニケーション力や主体性を身につけられるのがヒトツナギ部の特徴です。時に楽しく、時に苦しくなることもありますが、私達と共に乗り越え、誰よりも成長できる3年間にしてみませんか？



女子ソフトテニス部



女子バレーボール部



男子バスケットボール同好会



## 魅力溢れる 隠岐島前地域

本校を取り巻く3つの島はそれぞれ多彩な個性と歴史を持つ魅力ある地域です。自然豊かな環境とそこに住む方々が、学校と力を合わせて子供たちを育てています。



### 仲間とつくる寮生活 ～三燈寮・鏡浦寮～

生活の基盤である寮は高校の敷地内にあり、ワークショップのスペースや自習室、冷暖房完備の居室、栄養バランスが考えられた3食の食事など設備が整った環境です。寮内のスペースでゲストを招いてトークイベントを開催したり、地域行事や地区活動に参加したりする機会も多くあります。多様な方々との交流を通して地域での暮らしを学びながら、寮生たちが主体的に、時に周囲の大人を巻き込みながら、よりよい寮づくりに取り組んでいます。

## Interview

### 寮長に聞いてみよう！ 寮長 / 堀田京華・井上智大

寮生活は楽しいですか？

**[井上]**楽しいというよりinterestingの意味で面白いですね。寮生には色々な個性を持った人が沢山います。釣りが好きな人、PCが好きな人、勉強が好きな人などなど。それでいてお互いに邪魔し合うことはなく、それぞれの“好き”をお互いに共有して尊重しあえるのはすごく素敵で楽しいことだと思っています。また個人的に1番楽しいときは寮について話す時です。寮生たちで寮の将来について考える時などはすごくワクワクしますね笑。

**[堀田]**「楽しい」よりも「面白い」という表現がしっくりきます。寮生は一人一人違った個性を持っていてそれぞれ違うからこそ面白いし、何よりそれを認めてくれる仲間が素晴らしいと思います。今の生活の中で楽しいと感じることはたくさんあります。寮生は学年関係無く本当に仲が良く、夜の点呼後に食堂に集まってお話ししたり、ゲームをしたり楽しく過ごしています。私はこの時間が1番楽しいと感じます。話したことのない先輩や後輩と話す機会や、寮生が笑っている時間が特に多いと思います。そして楽しさだけじゃ収まりきらない面白さが鏡浦寮にはたくさん詰まっていますね。

一日々の生活で意識していることはありますか？

**[井上]**“寮生との関わり”ということ意識しています。寮長は寮生の代表者であると同時に学校や地域への代弁者でもあると思っています。そのためには積極的に寮生の意見や気持ちを汲み取ることが重要だと感じているので寮生との関わりは特に意識しています。もう一つは“肯定ファースト”を意識しています。これはハウスマスターの受け売りに近いのですが、誰かと話をするときは必ず肯定し受け止めてから話すようにしています。寮生の意見を聞く上でも肯定からはじめたほうが話しやすくなるので会話の際は意識しています。

**[堀田]**私はあるちょっとしたことを意識して生活しています。それは「誰かがやるから、いいか」という考え方をしないことです。例えば、トイレのスリッパが揃っていなかった時は揃える。洗面所で水が飛び散っている時を見かけたら布巾で拭く等、見て見ぬふりをしないことを

意識して生活しています。面倒くさくてやらない人も中にはいるかもしれませんが、でも綺麗な状態を保っている背景に気付いてくれて「感謝の気持ち」を伝えてくれる鏡浦寮生も沢山います。実際に相手に感謝の気持ちを言葉にして伝えることはとても大切なことだし、なかなか出来ないことだと思います。それが当たり前のようにできる鏡浦寮生は素敵だと思います。私も感謝の気持ちは小さなことでも伝えるよう意識して生活を送っています。

一中学生に伝えたいメッセージをどうぞ！

**[井上]**興味があることに是非飛び込んでみてください。寮生活は沢山のチャンスがすぐ手の届くところにあります。皆さんには是非そのチャンスを自分のものにしてほしいと思っています。もちろん失敗し頓挫することもあります。ですが寮にはその失敗を頑張ったねと褒めてくれる仲間が沢山います。成功すれば共に喜んでくれる仲間がいます。その仲間と作り上げる3年間はきっと島前でしか体験できない最高の3年間です。自分を変えたい、成長させたいと思う人、三燈寮で待っています！

**[堀田]**寮で生活って大変じゃない？って思う人も多いと思います。もちろん大変です。ですが、その分楽しさや面白さも充分にあると感じます。鏡浦寮では色々なことを考え、学べるんじゃないかと思っています。特に、自分の思っている当たり前や価値観を当たり前のようにして話さないことは大切だと鏡浦寮に来てから知ることができました。鏡浦寮で私が1番素敵だと感じたことは、仲間の挑戦を応援できる環境があることです。自分のことで精一杯で人の挑戦を応援することはなかなか難しいことだと思います。ですが、鏡浦寮生は家族みたいな存在でとても心が温まります。「ここに来て良かった！」と思えるような3年間に過ごしませんか？



### 島前3島がまるごとと学校

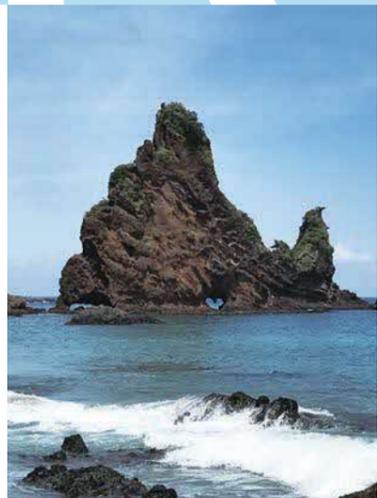
島前高校の学びの舞台は、学校がある海士町だけではなく。漁業と観光を主な産業とし、世界第1級の景勝地「摩天崖」を有する西ノ島町、畜産を主な産業とし、国の名勝天然記念物「赤壁」を有する知夫村と、地域資源が豊富である一方、少子化、高齢化、過疎化といった様々な地域の課題を先取りしている「課題先進地」である島前地域の特性を最大限活かした授業を展開しています。また、古くから地域に伝承されている神楽や民謡、俳句といった歴史文化や、全国から集まるやりたいことに本気で挑戦している大人たちとの出会いなど、教科学習の枠を飛び越えて、学べる魅力的な環境があります。



赤壁（知夫村）



摩天崖（西ノ島町）



明屋海岸（海士町）

### 地域活動

地域の祭などの伝統行事、地区の運動会、各種イベントやお手伝いに参加します。また、生徒達自身で企画し、地域の清掃を行ったりイベントを開催したりします。



地区運動会への参加



福祉施設ひまわりでお手伝い



漁師さんのお手伝い

## Interaction



地区の祭り



島前神楽



本土の高校生との交流  
（崎みかん選別のお手伝い）



### 島親制度

島留学生には地域と関わるきっかけとして「島親さん」を一人ひとりつけています。島前3町村の20代から70代の100人の方が関わってくださっています。休日に家を訪ねて畑の手伝いをさせられたり、家族と一緒に食事をしたりと、学校だけでは経験できない、地域ならではの貴重な経験をさせていただいています。卒業後も交流を続け、島親さんを訪ねて来島する生徒も多数います。



## Experience



# 高校と連携した 公立塾

放課後になると、生徒たちの多くは  
学校のすぐ下にある  
「第2の学び舎 隠岐国学習センター」に  
向かい、自分たちの学びを深めています。

OKI-DONZEN  
HIGHSCHOOL



## 地域連携型公立塾 隠岐国学習センター

隠岐国学習センターは、地域総がかりで生徒たちそれぞれの自己実現を支援する学びの場として設立されました。主体的に自ら学ぶ力を育む「自立学習」と、対話や実践を通して自分の興味や夢を明確にしていく「夢ゼミ」の2つの特徴的なカリキュラムから構成され、島前高校と連携・協働しながら「グローバル人材」の育成を目指しています。



Dream



### 特色その1 自立学習

進路実現に必要な学力を身につけると同時に、自立的に学ぶ力を育成しています。生徒一人ひとりと面談を行い、学習の計画づくりや振り返りをサポートすると共に、習熟度に合わせ個別に学習ができる環境を設けています。



### 特色その2 夢ゼミ

夢ゼミとは、隠岐島前地域を舞台に、対話的、実践的、探究的に学び続ける場です。地域の人をはじめ、多様な人と関わりながら、時代を問わず守り・受け継いでいくものを学びつつ、小さな変化をつくり出す「学習者」および「小さな変革者」を輩出していくことを目指しています。

## 卒業生からのメッセージ

川本 息生 [2014年度卒]  
慶應義塾大学環境情報学部卒  
JAしまね勤務



——高校での思い出  
私は知夫村出身ですが、当時は寮に住んでいました。寮での生活が1番思い出深く、色々あったけれど、思い出すのは楽しかったことばかり。当時は環境もそんなに整ってなくて、自分達で色々なものを作って、生活を立てていく面白さがありました。先生との距離も近くて、授業を自分達で提案して作ったことも、楽しい思い出です。

——今取り組んでいること  
知夫村で農協の職員として、畜産の担当をしています。元々実家が畜産農家だったので、牛も飼っています。今の暮らしを続けていきたいと感じるけれど、それが難しいのが今の現状。村が持続していくための事業を作って、必要な変化を促していきたいと思っています。私の出身大学では様々な分野を学ぶことができ、社会学や生物学、リフレクティブデザインなど、様々な視点で社会課題やイノベーションについて学んだ経験が、今にも活かれています。知夫村にも課題はたくさんありますが、規模が小さいからこそ動きやすいのが、村の良いところです。高校生とも話す機会があり、一緒に面白いことをやれるといいなと思っています。

——中学生へのメッセージ  
正直、高校が特別な場所である必要はないと思っています。この高校だからこの大学やこの企業に行けた、ということではなく、自分がこう思ったからこうした、と考えるようになって欲しいと思います。それは本土の高校も同じで、結局は自分の気持ち次第だということを、大切にしてください。

福井 美波 [2019年度卒]  
バンタンデザイン研究所  
ヘアメイク学部



——高校での思い出  
中学までは10人程の学級だったので、高校で関わる幅が広がり、様々な考え方に触れられたのは、とても刺激になりました。世界が広がったことで、最初は焦りや挫折感も味わいましたが、逆に「自分は何かできるのだろうか」「何が好きなのだろうか」と考えるきっかけにもなりました。学習センターの夢ゼミでは、ファッションへの関心から「表現ゼミ」に入り、自分で衣装をデザイン・作成しました。自由に好きなものを表現し形にするのは、良い経験になりました。忘れられないのは、3年生の時の体育祭！分団ごとにデコ、ダンス、衣装を作り上げるのですが、私はその中で衣装長を務めました。3つの要素に統一感を持たせようと分団で決め、皆でアイデアを出し合ってそれまでに無いことに挑戦したので、本当に大変でした。その分やり甲斐もあって、表彰式で衣装の部1位をとれた時には、メンバーと一緒に号泣してしまいました。

——今取り組んでいること  
これからは、その人に自信や勇気を与え、人生をより楽しくするメイクやファッションを学んでいきます。例えば容姿にコンプレックスがあっても、その人に合った提案で少しでもプラスに変え、より自分を楽しむための手助けができるようになりたいと思います。

——中学生へのメッセージ  
たくさん悩むし、「正しいもの」を選ばなければと思うかもしれませんが、人に言われて何かを決めるのではなく、自分の「好き」や「やってみたい」という気持ちを貫くことが、その先に責任を持ち、諦めないことに繋がると思います。そして、もし自分が決めたことに後悔することがあっても、きっとそこでしか出会えなかったものや、楽しいことを見つけれはるはず。楽しんだもの勝ちだから、自分の気持ちに自信を持って！

伊藤 圭那 [2017年度卒]  
高知大学 地域協働学部



——高校での思い出  
1つ目は、夢探究の授業。聞くだけの授業や講演より、自分達で考えて、調べて、準備して発表して、という実践的な授業の方が、自分には合っていて楽しかったです。1年生の時は島前の観光ツアーを考え、2年生の時は島のお土産を海外の方にも伝えやすくするというプロジェクトにチームで取り組みました。2つ目は、グローバル探究への参加。私はブータンに行かせていただいたのですが、初めて行った海外で、日本にはない価値観や文化にたくさん触れることができて、とても面白く刺激的でした。現地では幸福度の違いについてのアンケート調査もし、帰国後に分析と発表をしました。3つ目は、学園祭。またあの頃に戻りたいと思ってしまいうくらい。島前高校は人数が少ないし、縦割りのチームで体育祭をするので、ここで全校が交わって仲が深まります。準備では喧嘩もするけれど、そうして分団がまとまっていくのが今思うと本当に楽しくて、青春だったなと思います。3年では生徒会長と、もっと地域の人との交流を増やしたいと思い、一緒にご飯を食べる機会を作りました。迷惑もたくさんかけたけれど、先生や生徒会のメンバーと一緒にやってくれて、実現できました。

——今取り組んでいること  
大学で、地方創生や地域課題について学んでいます。学んだことを活かして故郷の西ノ島で働きたいと思ってはいたけれど、今は少し考えが変わりました。島の外や海外でやりたいことも出てきたので、これからは色々な人や機会に触れながら、自分で道を選んでいきたいと思っています。

——中学生へのメッセージ  
規模が小さいからこそ、1年生の時から学校の中で主役級に楽しめるのが、島前高校の良いところだと思います。部活も、授業も、学園祭も、色々なことの密度が濃くて、楽しめるよ！

井上 佳奈 [2020年度卒]  
公務員ビジネス専門学校  
救急救命士学科



——高校での思い出  
卒業した今、振り返ったときにまず思い出されるのは、何気ない日常の情景です。「また明日ね！」が当たり前でなくなっただけ。なにか特別なことをしなくても、友達と過ごす日々は本当に楽しかったです。お昼ご飯と一緒に食べたり、部活に打ち込んだり、暗くなるまで、話し込んだり…。毎日、笑顔が絶えなかったのは、みんなのおかげです。言葉で言い表すのは足りないけれど、一緒に過ごせた3年間は私にとってかけがえのない宝物です。そして、島親さんと一緒に囲んだ食卓も、島親さんの優しさと共に私の心に残っています。私のことを本当の家族のように迎えてくださり本当に嬉しかったです。島前に来て、本当に沢山の素敵な人に出会えました！

——今取り組んでいること  
今、私は福岡にある専門学校の救急救命士学科に通っています。元消防官・救急救命士の先生から救急現場の話聞く機会が多くあり、目を背けなくなるような救急現場もありますが、救急救命士という仕事に対するの思い、そして、1人でも多くの人の命を救いたい！悲しむ人を減らしたい！という思いを再確認する日々です。将来、「あなたが助けに来てくれて良かった」と思ってもらえるような救急救命士になれるように、毎日授業の復習を欠かさずに取り組んでいます。

——中学生へのメッセージ  
このパンフレットを見たのは、何かの縁かも知れませんが！島前高校の生徒は、出身地もバックグラウンドも様々です。そのため日々刺激を受けながら生活を送ることが出来ます。もちろん壁にぶつかるともあると思いますが、島前には壁にぶつかった高校生と真剣に向き合ってくださいる人が沢山います。私は、その方々のおかげで、壁を乗り越えることが出来ました。最後に私の好きな言葉のひとつを紹介します。

“空を飛ぶためには、抵抗がなければならない”  
皆さんにとって、素敵な進路が見つかりますように…